

2024.5.8 (WED) - 6.16 (SUN) 11:00-19:00

陸正路



スピル木が #1

陸路スピルオーバー #1

OVERLAND - SPILLOVER #1

2024 5/8 (WED)

1

2024 6/16 (SUN)

11:00 - 19:00

(水曜日は20時まで開館
open until 20:00 on WED)

火曜休館 入場無料

Closed on TUE, Free Entrance

いわゆる「電波漏れ」を意味するスピルオーバーは、その性質上、本来届けるはずの範囲を越境して、別の土地、地域、国家、人へと電波が届く現象を指す言葉です。行政権力や企業がどれほど労力を費やしても、電波は意に介さず国境を超え、地方区分を逸脱し、「受益者」の範囲を広げ続けます。想定されていなかった情報を受け取ってしまった者たちがこの世界にはそれなりにたくさんいるはずで。

逆に言えば、「サブスク (定額料金制)」や「地デジ化 (アナログ放送の廃止)」といったものは、料金を払った者と払っていない者に選り分け、分割線を明確にし、文化 (商品) の受け渡しを厳密に管理するという欲望に他なりません。しかしそれでも、完璧な管理など存在しないし、スピルオーバーがなくなることはない。

この企画は、スピルオーバーという現象をベースにして、継続的に発表を続けていく予定です。「陸路 (スピルオーバー #1)」はその最初の試みとして、アートセンター BUG において、林修平、MES (新井健、谷川果菜絵によるアーティストユニット)、FAQ? (谷川果菜絵、小宮りさ麻史奈によるプラットフォーム) という、一人・一組・一プラットフォームの実践を展開します。

ゲストキュレーター 長谷川新

MES は、彫刻や空間芸術にバックグラウンドを持つ新井健 (あらい・たける) と、文芸、演劇にルーツのある谷川果菜絵 (たにかわ・かなえ) の二人がインディペンデントに企画・制作するアーティストデュオ。2015年に東京芸術大学にて結成、東京を拠点に活動する。

現代美術とクラブカルチャーという親しく不可分な領域の境界から都市や社会の変化を見つめ、19世紀から現在まで通底する社会問題に向き合い制作を重ねている。これまで光や熱の性質を利用したインスタレーションやパフォーマンスを発表、国会議事堂にアプローチした〈DISTANCE OF RESISTANCE 抵抗の距離〉、他者との隔たりを熱の運動で描いていく〈サイ/SA-I〉に見られる、レーザーやサーモグラフィなどのテクノロジーと、蓄光素材や振動、身体とテキストといった可変的な素材を組み合わせたスタイルを特色とする。

現在まで、レーザーアニメーションを使用したVJパフォーマンスとしても活躍し、音楽ジャンルを問わずサウンドアーティストやDJ等とコラボレートし舞台演出を担っている。近年はパーティー「REVOLIC -revolution holic / 革命中毒-」のオーガナイズ実践も行方。



FAQ? 交換日記 2023



林修平
Shuhei Hayashi

1993年生まれ。愛知県在住。

爬虫類や両生類の飼育経験に基づき、身体を取り巻く諸規範の矛盾を露呈させたり、生態系の循環システムに人間を組み込む方法を考えたりしている。2020年から住所非公開スペース「IN SITU」の運営にも携わっている。

主な展覧会に「D.L.P.」(第一ビル / 2023)、「神 (analyzer)」(IN SITU / 2023)、「DAZZLER」(京都芸術センター / 2022)、「群馬青年ビエンナーレ 2021」(群馬県立近代美術館 / 2021) など。



《帝國水槽》
2022
熱帯魚 (エンペラーテトラ、ヌマエビ、水槽、水草、山水石、砂、LEDライト、濾過装置、CO2ボンベ、『漢州水草園』)

撮影：守屋友樹



MES

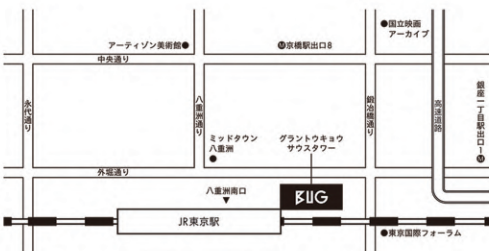


(ガイ / GA-I) 2023
撮影：百瀬文



F...figure, feminism, feeling...?
A...art, alternative, affirmative...?
Q...queer, questioning, qualia...?

その周辺、その時の関心や疑問をトピックとした記述を書き綴る、エッセイのようなコラムのような、とりとめもない交換日記から始めるネットワーク。谷川果菜絵 (MES、NEON BOOK CLUB) と小宮りさ麻史奈の2人によって2021年に始動。交換日記のほか、イベントや企画なども行う。



会場
BUG

〒100-6601 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウ
ウスタワー1F BUG
Gran Tokyo SOUTH TOWER 1F, 1-9-2, Marunouchi,
Chiyoda-ku, Tokyo



会期中にイベントを実施します。
詳細はウェブサイト、SNSにてお知らせします。
[X(Twitter) / Instagram] @bugart_tokyo
[Facebook] bugart.tokyo